

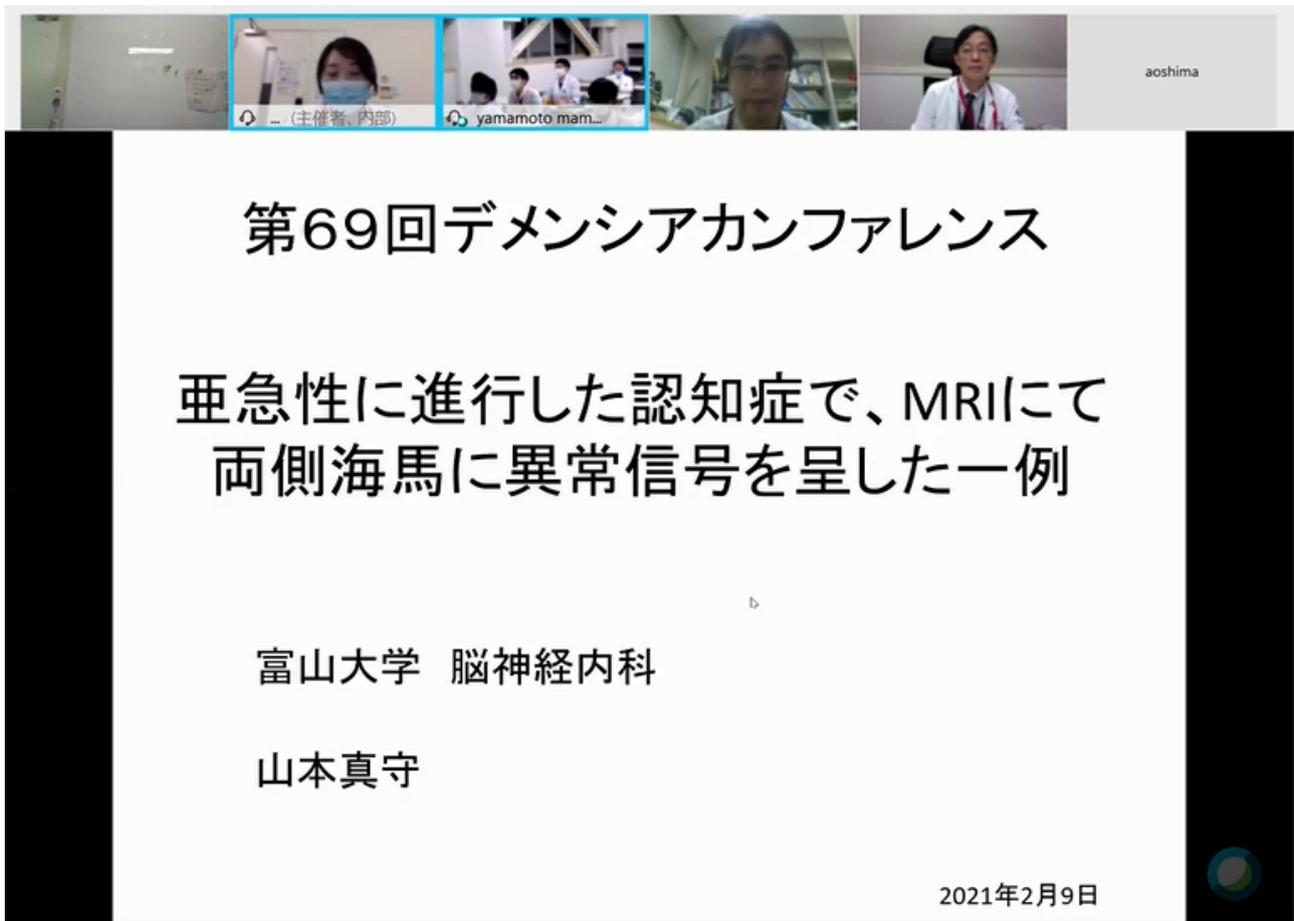
第69回デメンシアカンファレンスを開催

2021年2月9日

2月9日（火）に富山大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）「第69回デメンシアカンファレンス」を開催しました。

今回のカンファレンスは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の拡大を踏まえ、集合形式＋テレビ会議システムによる開催を見合わせ、Web上で開催しました。

「亜急性に進行した認知症で、MRIにて両側海馬に異常信号を呈した一例」のタイトルで、富山大学からの症例報告が進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。



第69回デメンシアカンファレンス

亜急性に進行した認知症で、MRIにて
両側海馬に異常信号を呈した一例

富山大学 脳神経内科
山本真守

2021年2月9日

症例発表の様子とスライド

第 69 回デメンシアカンファレンス 報告要旨

『亜急性に進行した認知症で、MRI にて 両側海馬に異常信号を呈した一例』

発表者：山本真守（富山大学附属病院 脳神経内科）

司 会：道具伸浩（富山大学附属病院 脳神経内科）

【要 旨】

76 歳男性。2019 年 9 月 胃から込み上げる感じを自覚した。近医受診も改善なく経過した。町内の役員も務めることもできていた。2020 年 9 月生活に支障はないが、同じことを何回も聞くようになった。だんだん症状が悪化した。9 月末クリニック受診し、頭部 MRI で異常を指摘された。ラコサミド 100mg が開始され、胃の違和感が改善した。10 月に入り当院脳神経外科に受診し、入院し、内科疾患除外のため当科に紹介となった。一般身体所見に問題なく、神経所見は MMSE 22 点、HDS-R 19 点と記憶力の低下を認めた。他に異常は認めなかった。

MRI では両側海馬に T2 高信号病変を認めた。

結果的に抗 LGI-1 抗体陽性であった。ステロイドパルス 2 クールで多少の記憶障害は残るものの MMSE29 点まで回復した。また画像も招待傾向であった。ステロイドはその後漸減した。

治療可能な認知症（treatable dementia）として
抗 LGI-1 抗体脳炎を鑑別に挙げる必要がある。

【質問・意見】

質問：後遺症は残ったのか？

回答：生活に支障はないが、記憶力の低下は残っている。

コメント：



NINPRO

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）

第69回デメンシアカンファレンス（Web）

2021年2月9日（火）18:30～

「亜急性に進行した認知症で、 MRIにて両側海馬に異常信号を呈した一例」

発表者：富山大学脳神経内科 山本 真守
担当：富山大学
対象：認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者（医療系大学の学生含む）

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム（WebEX）を使用

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の拡大を踏まえ、
当面の間、集団形式＋テレビ会議システムによるデメンシアカ
ンファレンス開催を見合わせ、代わりにWeb上で開催します。
カンファレンス後にWeb上で質疑をします。

・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参
加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで
参加案内をお送りします。案内状のメールに従って会議にご参加下さい。

・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認
します。

・上記以外で参加を希望される方は2月8日までに氏名とメールアドレス
を北陸認プロ運営事務局までお知らせ下さい。

（ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp）

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149/FAX:076-234-4208 / E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp / URL:<http://ninpro.jp/>